

分析結果に基づく課題と解決のための個別事業

分析結果からみた課題と対策を以下に示します。

健康課題
生活習慣病 ・健康診査データより、生活習慣に関連した検査項目において、有所見者割合が高い項目がある。 ・医療費及び患者数上位において、生活習慣に係る疾病が多くを占めている。一方で、生活習慣病の重症化リスクがあるにもかかわらず、適切な受診につながっていない健康診査受診勧奨判定値者、生活習慣病治療中断者が存在する。 ・透析患者のうち、生活習慣を起因とする糖尿病から透析に至った患者が最も多い。
医療費、受診行動 ・ジェネリック医薬品の使用割合は87.2%である。 ・受診行動の適正化が必要な、重複・頻回受診、重複服薬のいずれかに該当する被保険者が存在する。 ・薬物有害事象の発生や副作用につながると懸念される長期多剤服薬者が存在する。
被保険者の健康意識 ・各種健康診査(検診)の町実施分の受診率は、年々減少しており、令和4年度に健康診査自己負担金の無料化を行っているが、受診率の大きな変化はない。 ・健康診査の質問票より、運動習慣がないと回答した割合は61.9%、生活習慣の改善意欲がないと回答した割合は27.4%である。

事業名称
特定健康診査受診率向上事業
特定保健指導事業
健康診査受診勧奨判定値者への医療機関受診勧奨事業
糖尿病性腎症重症化予防事業
ジェネリック医薬品使用促進通知事業
受診行動適正化事業
各種健康診査(検診)の受診率向上事業
健康づくり事業



国民健康保険加入者の評価指標	計画策定時実績 令和4年度	目標値					
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健康診査受診率	53.4%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
特定保健指導実施率	20.6%	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%
健康診査受診勧奨判定値者の割合(HbA1c)	13.5%	12.0%	12.0%	12.0%	12.0%	12.0%	12.0%
(血圧)	27.3%	26.0%	26.0%	26.0%	26.0%	26.0%	26.0%
新規人工透析患者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
ジェネリック医薬品使用割合	87.2%	88.0%	88.0%	88.0%	88.0%	88.0%	88.0%
重複・頻回受診者数	11人	10人	10人	10人	10人	10人	10人
各種健康診査(検診)の受診率							
若人健康診査	11.8%	12.8%	12.8%	12.8%	13.0%	13.0%	13.0%
結核・肺がん検診	33.7%	34.7%	34.7%	34.7%	35.0%	35.0%	35.0%
胃がん検診	21.2%	22.2%	22.2%	22.2%	23.0%	23.0%	23.0%
大腸がん検診	29.7%	30.7%	30.7%	30.7%	31.0%	31.0%	31.0%
乳がん検診	23.4%	24.4%	24.4%	24.4%	25.0%	25.0%	25.0%
子宮頸がん検診	24.1%	25.1%	25.1%	25.1%	26.0%	26.0%	26.0%
前立腺がん検診	33.1%	34.1%	34.1%	34.1%	35.0%	35.0%	35.0%
歯周病検診	15.2%	16.2%	16.2%	16.2%	17.0%	17.0%	17.0%
骨粗しょう症検診	32.1%	33.1%	33.1%	33.1%	34.0%	34.0%	34.0%
脳検診	33.2%	34.2%	34.2%	34.2%	35.0%	35.0%	35.0%

山元町国民健康保険 第3期データヘルス計画(令和6年度～令和11年度)概要版

町では、これまでの第2期データヘルス計画に基づいて、保健事業の取組状況の評価、最新の診療報酬細書(レセプト)データ、特定健康診査データ等の分析結果を踏まえ、より効果的・効率的な保健事業を実施していくため、「山元町国民健康保険 第3期データヘルス計画」を策定しました。
計画期間は、関係する計画との整合性を踏まえ、令和6年度から令和11年度までの6年間です。

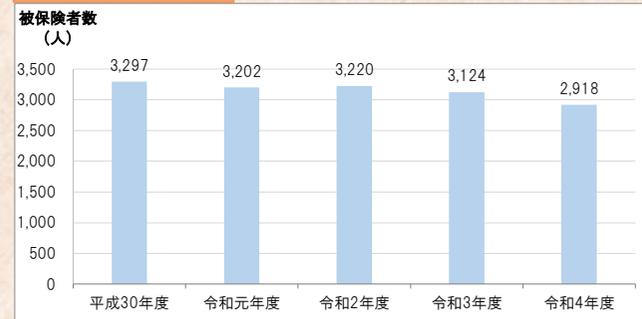
山元町の概要

本町の被保険者数は、平成30年度の3,297人に比べて、令和4年度は2,918人と**379人減少**しています。



出典:国保データベース(KDB)システム
平成30年4月～令和5年3月

年度別 被保険者数



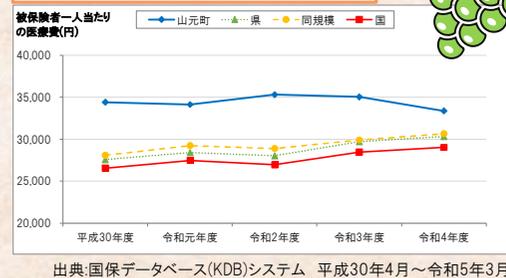
令和4年度の医療費及び被保険者一人当たりの医療費は、平成30年度と比べて**減少**しているが、県や国等の数値より年間を通して**高く推移**しています。

年度別 医療費の状況



出典:国保データベース(KDB)システム
平成30年4月～令和5年3月

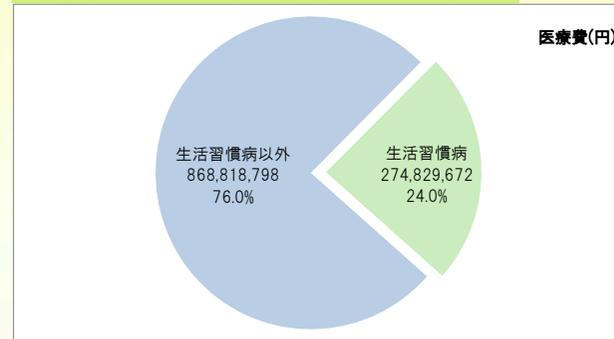
年度別 被保険者一人当たりの医療費 (県・同規模・国との比較)



出典:国保データベース(KDB)システム、平成30年4月～令和5年3月

健康課題:生活習慣病

医療費全体に占める生活習慣病医療費の割合



生活習慣病の医療費は2億7,483万円で、医療費全体に占める割合は24.0%となっています。

医療費全体の約1/4が生活習慣病の医療費になっている!!



出典:レセプトデータ
令和4年4月～令和5年3月 診療分

●生活習慣病疾病別 医療費統計

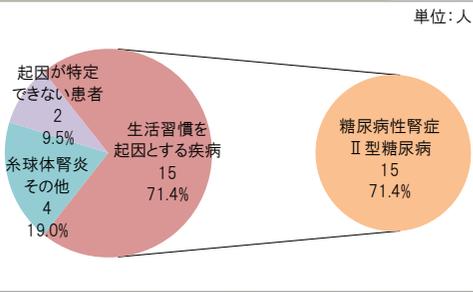
疾病分類(中分類)	医療費(円)	構成比(%)	順位	患者数(人)	有病率(%) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
糖尿病	67,084,513	24.4	2	1,181	34.6	2	56,803	5
脂質異常症	31,086,324	11.3	4	1,067	31.3	3	29,134	9
高血圧性疾患	60,088,368	21.9	3	1,343	39.3	1	44,742	6
虚血性心疾患	20,614,091	7.5	5	342	10.0	4	60,275	4
くも膜下出血	5,016,912	1.8	8	16	0.5	9	313,557	2
脳内出血	5,337,889	1.9	7	33	1.0	8	161,754	3
脳梗塞	6,867,691	2.5	6	211	6.2	5	32,548	7
脳動脈硬化(症)	13,790	0.0	10	2	0.1	10	6,895	10
動脈硬化(症)	2,055,200	0.7	9	67	2.0	7	30,675	8
腎不全	76,664,894	27.9	1	97	2.8	6	790,360	1
合計	274,829,672			1,862	54.6		147,599	

疾病別に見ると
 ・腎不全
 医療費、患者一人当たりの医療費1位
 ・糖尿病
 医療費、患者数2位
 ・高血圧性疾患
 医療費3位、患者数1位

！生活習慣病疾病でも上位3疾病に入る糖尿病・・・
 ・影響はこんなところにも!!

出典:レセプトデータ 令和4年4月～令和5年3月 診療分

●透析患者の起因



「透析」に当たる診療行為が行われている患者を分析した結果、起因が明らかとなった患者のうち、71.4%が生活習慣を起因とするものであり、II型糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることがわかりました。



出典:レセプトデータ 令和4年4月～令和5年3月 診療分

健康課題:医療費、受診行動

●重複受診者数...1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプは対象外とする。

令和4年度 (令和4年4月～令和5年3月)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
重複受診者延べ数(人)	1	0	2	3	1	2	3	1	2	4	3	2
12カ月間の実人数												23人

ちよこつとメモ
 重複受診、頻回受診、重複服薬のことをまとめて「多受診」と呼ぶ!!

●頻回受診者数...1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

令和4年度 (令和4年4月～令和5年3月)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
頻回受診者延べ数(人)	6	1	3	3	6	7	8	7	9	11	6	8
12カ月間の実人数												29人

令和4年度における多受診者は合計97人、そのうち最も人数が多いのは重複服薬者で45人、多受診者の約46.0%を占めています。

●重複服薬者数...1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

令和4年度 (令和4年4月～令和5年3月)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
重複服薬者延べ数(人)	8	6	6	3	6	4	5	10	12	5	14	8
12カ月間の実人数												45人

出典:レセプトデータ 令和4年4月～令和5年3月 診療分

多受診は、不適切な受診行動も含まれている為、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である!!



ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)87.2%は、令和2年度87.0%より0.2ポイント増加しています。

●年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)

	薬剤数量		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ジェネリック医薬品普及率	87.0%	87.5%	87.2%

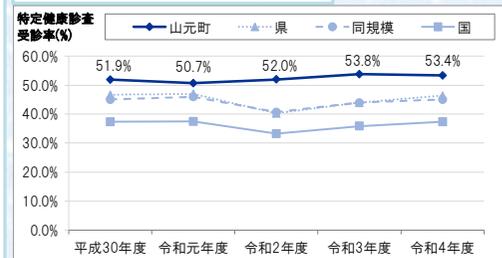
出典:レセプトデータ 令和2年4月～令和5年3月 診療分



健康課題:被保険者の健康意識

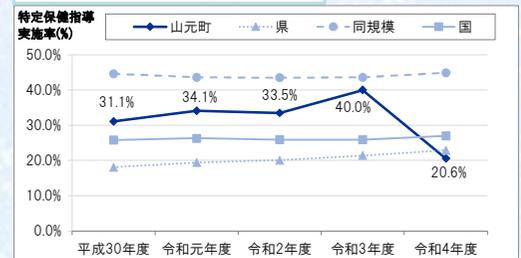
令和4年度の特定健康診査受診率53.4%は平成30年度51.9%より1.5ポイント増加しており、令和4年度の特定保健指導実施率20.6%は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い平成30年度31.1%より10.5ポイント減少しています。

●年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム 平成30年4月～令和5年3月

●年度別 特定保健指導実施率



出典:国保データベース(KDB)システム 平成30年4月～令和5年3月

●質問別回答状況



運動習慣がないと回答した割合は61.9%、生活習慣を改善する意欲がないと回答した割合は27.4%も存在する・・・



出典:健診データ 令和4年度受診者回答分

●各種健康診査(検診)受診率

	対象者	令和4年度	令和5年度
結核・肺がん検診	40歳以上の者	33.7%	35.9% ↑
胃がん検診	35歳以上の者	21.2%	21.7% ↑
大腸がん検診	40歳以上の者	29.7%	30.1% ↑
乳がん検診	30歳～39歳の女性 41歳以上の奇数年齢の女性	23.4%	21.1% ↓
子宮頸がん検診	20歳以上の女性	24.1%	24.3% ↑

各種健診(検診)の中には減少傾向の項目も・・・
 早期発見・予防の為に、受診率を上げたい!!

お願い!!

